



No. 32

RSCDS 東京ブランチ 96年度会員登録更新のお願い

例年のとおりRSCDS 東京ブランチ会員登録更新の時期がやってきました。ご友人お誘いのう
え、登録更新をお願い申し上げます。

1. 締切日 4月30日(火) ……消印有効。

みなさんからの申込書を整理し、新会員数と名簿を5月末までにRSCDS 本部に報告します。

2. 同封の郵便振替用紙をつかって、個人でまたはご家族でお申し込みください。やむをえずま
とめて申し込まれる場合でも、すべての項目を記入した郵便振替用紙をセクレタリまでお送りくだ
さい(事務処理上、1人1枚のほうが効率がよいからです。リスト形式は不可)。必要項目が記
入されていれば、郵便局そなえつけの振替用紙でかまいません。

振替口座番号 00160-9-64023

加入者名 RSCDS東京ブランチ

- (1) 振替用紙に郵便番号・住所・氏名・電話番号の記入をお忘れなく。
- (2) 金額欄には「¥」や「金」の文字は記入しないでください。
- (3) 振替のシステムが新しくなり、事務局には振替用紙そのものではなくコピー
が送付されます。振替用紙裏面にメッセージがあってもコピーされません。
用紙表面にすべての事項をお書きください。
- (4) 払込みの控えはブランチ年会報の発行まで保存してください。郵便振替シ
ステムは信頼に足るものですが、ときとして未着・誤配されることがあるため
です。

3. 会費額 ……つぎのいずれかひとつの金額です。

- (1) 年次会員に登録 …… 2,600円 (1,200+1,400)
 - (2) 長期(10年)会員に新規登録 …… 13,400円 (12,000+1,400)
 - (3) 既長期/終身会員でことしも継続 …… 1,400円 (払込済+1,400)
- カック内前段・本部会費 1年 ¥1,200 · 10年 ¥12,000
後段・ブランチ会費 1年 ¥1,400

4. RSCDS 本部に直接会員登録した長期会員であって、ことしから東京ブランチ経由に会員登録を変更されるRSCDS 会員は、混乱を避けるため移籍について所属グループ責任者の同意を得、『移籍申込書を』セクレタリに提出していただくことになります。
5. ことしはブランチ全会員に Book 39をお送りいたします。これが不要な場合は、べつのBook No.をお書きください。どのBook、ポケット版でもかまいません。
6. 長期会員であって、SCDへの関心・情熱のうすれたかたは、セクレタリに『やめます』とお知らせいただけると幸いです。
7. 96年度に本部およびブランチが発行するすべての資料（Book 39、ブレティン、ブランチレターなど）は、ブランチ年会費が払込まれたあとの発行分からお送りいたします。
8. 締切日までにお申し込みがない、あるいは申込書が少々不完全でもお問い合わせいたしません。記入されていない項目は年会報会員名簿に「*」で表します。

グループ名簿のデータ見直しのお願

ブランチ年会報の"Scottish Country Dance Groups in Japan"に記載するため、昨年と同様、グループ連絡先のかたに返信切手つきで記入用紙をお送りしました。所定事項ご記入のうえ、セクレタリにお返しく下さい。データに変更がなければ『前年からの変更なし』で結構です。

年会報にのせたいお知り合いのグループがあれば、記入用紙をコピーされ、おなじようにセクレタリにお送りください。

ブランチ年次総会と初夏合宿

昨年から年次総会と初夏合宿をとまにおこなっています。ことしは2月合宿とおなじく石川島研修センターで開催します。東京ブランチのむこう1年のありかたをSCD研修とあわせて述べさせていただきます。大勢の会員のご出席を期待しております。

日 時： 96年6月15日（土）午後～17日（日）午前
 場 所： 神奈川県綾瀬市・石川島研修センター
 会 費： ￥12,000（1日参加は￥4,000）の予定
 内 容： 年次総会・ソーシャルダンシング・研修

案内書は後日お送りいたします。

ブランチ・クラスの日程

会場決定が1か月前となっているため、タイムリーにブランチレター掲載ができず、申し訳ありません。4～6月はつぎのとおりです。開催可否は前月のクラスの間でお知らせしておりますが、不安な場合はセクレタリまでお問い合わせください。

4月6日（土） 6.00-8.40 PM 二階堂芸術スポーツホール（明大前）

5月4日（土） 未確定

6月1日（土） 未確定

4～6月の講師は池間博之さん・五十嵐成子さんの双頭指導です。

グループ告知板

- 4/29 (祭) 1:00-4:30pm SCDGボビンズ スプリング・パーティ 与野市コミュニティセンター
¥1,000 小泉節子 048-687-6329
- 5/18 (土) 東京SBBC ブルーベル・ボール 岡田昌子 03-3814-0771
- 5/19 (日) 浦和SCDG 20周年パーティ 佐藤仁美 048-885-1894
- 5/25 (土) - 26 (日) 岐阜SCDC 30周年スペシャル・ウィークエンド・クラス 長良川スポーツ
ツプラザ 講師メリー・マリー 定員40名 有田典和 058-262-1656
- 7/21 (日) 岐阜SCDC 30周年パーティ 長良川ホテル 定員60名 前泊希望者要予約
有田典和 058-262-1656

第9回ランチ合宿レポート

朝からの雪は深夜におよんでも降り止まず、翌日曜の昼まで10センチの厚さになりました。雪の合宿ははじめての記録です。第9回ランチ合宿は、67名の参加をえて2月17日～18日、石川島研修センターで行なわれました。3クラスにわかれて研修し、夜はランチピアニストによるインフォーマルダンシングで思い切り楽しみました。ウォークスルー教室やSCDビデオ上映もあり、ゆったりしたスケジュールで進みました。心配していた帰路の交通事情は、東名高速バス不通のほかは順調に動いており、みなさん苦勞なく帰宅されたと聞いております。

感想アンケートのおもな意見

- A・B合同クラスは、多くの人の手から伝わってくるものがあって合同でよかった。
- A・B合同クラスは選曲に無理があったように思う。時間がなく8X32を踊れなかったのは残念。
- 講習曲を前もって知らせてくれると疑問点や質問も出る。……SCDでは白紙の状態を受講するのが慣例です(指導者トレーニングは別物)。
- パーティやソーシャル・ダンシングはもっと少なくし、基礎的な講習のほうに重点をおいてほしい。
- A・B合同クラスもよかったし、2つに別れてのクラスもレベルに適應していた。
- これからも多くの指導者から、SCDの多様性を楽しみたい。
- 合同クラスの時間配分は適当でない。2つに分けたクラスのほうを多く楽しみたかった。
- Cクラスはランチではこの程度かと思った。私的指導者勉強会のほうが充実している。
- Cクラス、ティーチャー養成のために、ランチがもっと多くの企画を実施してほしい。
- Cクラスで指導者試験を受ける受けないにかかわらず、いろいろなことが分かりとてもよかった。ただ、課題曲12曲が当然分かっているはず、というやりかたには参った。事前に徹底してほしい。
- Cクラスは指導者試験への受験対策ではなく、もっと広く、各グループリーダー勉強会のほうがよかったのでは。

<ランチ合宿に参加して> 山田奈加子(福岡市)

前日までの日常生活のあわただしさをそのままに、早朝一番の新幹線にとびのった。岡山からは雪景色、ひよっとしたら遅れるかなとの思いが的中し、新横浜からのりかえのりかえ会場に辿り着いたら、予定よりも40分遅くなっていた。

申し込みはAコース。一週間前にとどいた合宿案内にはCコースとあった。これはいったいなんだ? 気持ちの整理のつかないまま、くわえて遅刻すれすれの会場入りで、受付で説明をきく間

もなくコース別の部屋へ。ここから冷や汗の2日間がはじまった。

ドアをおそるおそる開けた途端、ここはわたしの場所ではない。Cコースのビリッとした雰囲気
がそう思わせた。みじかいあいさつの後、プリントが渡され、すぐに担当講師による研修がはじま
った。Cコースは指導者資格試験をめざす人のクラス。ソサエティの運動とは、にはじまり、受験
するための5つの条件、そして指導するための細かな注意事項、その一つ一つは楽しく踊るための
指導をより高いレベルで求める内容だ。レッスンプランをたて、そのプランに沿って指導する。こ
こで、できないのはなぜ、ひとりずつ注意深く観察する。また、ベストのステップをふんでデモン
ストレーションする。しかもどの位置で見せればよいか。グループ分けは適当か、音楽は、自分の
発する声は表現豊かに伝わっているか。そして指導者として人格、品性が大きな信頼を寄せられる
ものであるか。ここにいたって、ペンを走らせていたメモから思わず顔をあげた。ソサエティのめ
ざす指導者として期待する像は、よいダンサー、よい指導者としてだけでなく、人としての目標が
めざすところなのだ。

課題曲から3曲を踊る。この時間帯は、経験の乏しいわたしが一人足を引っぱってしまった。重
々反省。

ティータイムである。いろいろな人とおしゃべりと、ビスケットのおいしかったこと。ほっと
した気分であつたので格別であつた。初対面の人との会話中、名札が腰でなく胸、それも上の
方についていればいいのに、と何度思ったことか。

夕食までの時間、前もって与えられた課題曲の指導を、真剣に、かつ熱心に取り組んだみなさん
に対して、そのつど鋭く、あたたかい適格なアドバイスが与えられた。これからの勉強に大いに力
づけられるものであつたと思う。

2日目もCコースでは前日夜に渡された課題曲の指導を3人が率先して担当し、その指導内容に
ついてより良い方法はないか意見を交わし合い、講師が全体をさらに深めるためアドバイスをいう、
という形で進められた。時間が経過するにつれ、一步一步指導者への道が開けていくようにみえた。

わたしのCコース体験は、楽しく踊るためのソサエティの活動を支える指導者をめざすみなさん
の熱い思いを感じた2日間でした。

またお会いしましょう、口々に交わしながら帰路についた。SCDをもっと好きになって、もっ
と上達して、自分を高めて……。雪の中での印象的な合宿だった。

2月18日が終わろうとする頃、男の人の声がぼんやり耳に入ってきた。「お客さん、終点です
よ」 みなさん大変お世話になりました。ありがとうございます。

<ランチ・クラス・イン長岡>報告

日 時 : 96年2月22日(木) 12-16時
場 所 : 長岡市(アンティーズ)
参 加 者 : 24名
ピアニスト : 小海弘子
講 習 曲 : 1. Soltire Society Reel (R)
2. The Whistler (J)
3. Culla Bay (S)

雪の日で、帰りの電車が心配な程の降り様であつたが、3セットのメンバーが集まった。経験年
数の長い人から、つい最近始めたばかりという人(3人位)もいて、レベルは一様ではなかつた。

Pas de Basque を主体にステップを練習したあと、上記3曲を踊った。(途中Tea Timeあり)

新潟県全体には案内が出ておらず(今回はいろいろな事情でアンティーズのみ)、人数が少なくクラス自体はよかったが、費用を考えると少し心配になる。

今の東京のクラスの会費も含め、どこでも同じ会費にして、遠くのクラスへも融通できるような仕組みを考える必要がある、と思われる。(講師:佐藤仁美 記)

東京世田谷区(明大前駅)において月1回のランチ・クラスを開催しています。その時間・費用負担を考えると、参加したくても簡単にはいかない首都圏外の会員のために、ランチから公認指導者を派遣し、出張クラスを行なっています。東京地方の会員に比べ少しの負担増ではありますが、あなたの例会場でランチ・クラスをやってみませんか。セクレタリまでご一報ください。

マコーエン夫妻研修会報告

すっかり春を思わせる3月16日午後、東京墨田区曳舟文化センターにおいて3年ぶりに来日したロバート&バーバラ・マコーエン夫妻(ボストン・ランチ)による研修会が行なわれました。

参加者: 74名

講師: ロバート・マコーエン

フィドル: バーバラ・マコーエン、 ギター: ロバート・マコーエン

研修曲: 1. The Last of the Laird (J)…… Book 22

2. Alec Hay's Delight (S) …… J. Drewry

3. Homeward Bound (R) …… I. Boyd

今回は髭をはやしたロバート、会場一杯の生徒に『3年間に2回招いてくれてありがとう。日本のみなさんはよく吸収してくれるので、指導しがいがある』ということばで研修をはじめました。右、左、よくできました、などの日本語もロバートからひっきりなしに飛び出て、いっそう和やかな雰囲気です。エクササイズはゆっくりしたワルツ。上体よりも脚・足を主体にしたストレッチングです。このロバート流のエクササイズ、『そういえば3年前もこれだったね』懐かしさがよみがえってきました。

トップにきたら3 Couples ともCross downのReel of three の"Last of the Laird"、Set & linkとPetronella in tandemの"Alec Hay's Delight"、Diagonal swapping reel of three の"Homeward Bound"の3曲を、基礎ステップ講習を含め、約3時間にわたって研修しました。

フィドル1本で自在にダンサーを動かすバーバラは、8小節であろうと8×32小節であろうと苦もなく弾きこなしてくれました。弾いていることをダンサーに強調させない、音がいつもあるのが当然、といった実力は、技量・努力・経験によるものでしょう。

研修に続いてロバートのMCによるソーシャル・タイムに移りました。ウォークスルーのあと、ロバートはギタリストになってバーバラとのデュオ演奏です。ダンス曲は、Maxwell's Rant, Marquis of Lorne, Wild Geese, Monymusk, Duke of Atholl's Reel, Hrs MacLeod of Raasayの6曲でした。ロバートの『こんどはみなさんがボストンにきてね』というあいさつで4時間の研修が終わりました。この機会を導入し、会場を手配していただいた川崎千佳さん、ありがとうございます。



マコーエン夫妻研修会から

SCDクイズ解答

前号ランチレター、SCDクイズの正解は、1-X、2-X、3-X、4-Oでした。下記の正解者にミシュラン40万分の1スコットランド・マップをお送りしました。

土井博子（門司市）・山崎智枝子（下関市）

〔解説〕

設問1. フロアはダンスの場所であり、ダンシングしていないときはいつもクリアにしておかなければならない。ダンスするかしないかはMC (Master of Ceremonies)の所管事項で、これに対して無言の催促をするのは、MCがもたもたしたといえど、あつかましい行為といえる。フロアをクリアにする理由は、パートナーおよびセットの固定化を避けること、踊りと踊りをはっきり区分けし、ダンサーに新鮮な気持ちをよみがえさせるためである。また、むかしボールルームは王や貴族の持ちものであり、所有者またはその代理人（MC）の指示なしにフロアに進むと、謀反人・反逆者とみなされたことにも由来する。

設問2. SCDはカップル・ダンスではなくセット・ダンスであることを忘れてはならない。カップルだけが楽しむのではなく、8人ぜんぶが楽しい気持ちで終わるようにしなければならない。自信のないカップルがセットに加われればそのカップルを援助し、8人が協力しあってできあがるダンスがSCDである。トップからダンシング・ブレイスをつめるのがきまりであるが、位置を交替するのもその援助の一つである。

設問3. 目は口ほどにものを言い、とはいうが、SCDにあっては目だけではおのずから限界がある。ことにビギナーに対しては、ダンス中、ことばや身振り手振りに勝るものはない。やりすぎは避けるべきであるが、適時ガイドが必要である。

設問4. ユニオン・ジャック旗は「グレート・ブリテンおよび北アイルランド連合王国旗」であって「スコットランド旗」ではない。ユニオン・ジャック旗は、旅行案内書にもあるとおりつぎの国旗を組み合わせたものである。

スコットランド（聖アンドルー十字旗）	……………	空色の地に、白のX十字
イングランド（聖ジョージ十字旗）	……………	白地に、赤の十字
アイルランド（聖パトリック十字旗）	……………	白地に、赤のX十字

われわれSCDダンサーはスコットランドとイングランドの対立の歴史を知っている。「SCDパーティにユニオン・ジャック旗」は好ましいこととはいえ、旗を飾りつけるならば、「聖アンドルー十字旗」としたい。

誤記訂正

前号ブランチレターをつぎのように訂正します。

	誤	正
3ページ	ギル・パーカー	ジル・パーカー
”	アーカイビスト（文書記録係）	アーキビスト（古文書管理）
15ページ	安村きみ子さん	^{やまの} 安室喜美子さん

ソサエティ臨時ECMで組織変更を討議

スコットランドにおける慈善団体系改正にともなうRSCDSの組織変更が、3年間にわたり討議されてきました。この3月23日にエディンバラにおいて臨時ECMが開催され、組織変更最終案が審議されます。組織変更案の要旨はつぎのとおりです。

1. RSCDSは自立組織であり、各ブランチも同様に自立した組織である。
2. RSCDSとブランチ（文面ではLocal Association）とで同意書を結ぶことにより、ブランチはRSCDSとのつながりを保つ。同意書のなかみは、
 - 1) ブランチは、“RSCDS”の名前およびロゴ（王冠マーク）を使用することができる。ブランチはRSCDSの代理人であり、パートナーであり、代表者である。
 - 2) ブランチ会員はRSCDSの会員でなければならない。
事務局注：他のブランチは、RSCDS会員でなくてもブランチ会員になれるところが多く、この条文には議論集中が予想される。東京ブランチは発足当初からこの条文どりの方針であったため、なんら問題はない。
- 3) RSCDSは、RSCDSの会員であるブランチ会員に、
 - (a) 新ブックを送付する。
 - (b) 物品購入時に割引の特典を与える。
 - (c) 試験受験の機会を与える。
 - (d) サマースクールやその他の行事に参加できる機会を与える。
4. RSCDSの規約(Constitutions)・規則(Rules)も変更されるが、現行のものとはほぼ同一である。

このあと、5月11日（土）にソサエティ臨時総会が開催され、正式に組織変更が決定される予定です。

本部直属会員に対する手数料徴収

上記臨時ECMにこの議案が提出されています。ブランチは本部活動の一部を肩代わりしているため、ブランチ会員配布用に小山のような部数の新ブックとブリティンが、本部からブランチ・セクレタリに一括して毎年送られてきます。一方、本部直属会員に対する郵送料負担と発送作業は本部がやらざるをえないわけでその労力は大変なものである、したがって年会費6ポンドに加え年5ポンド（長期会員は50ポンド）の手数料を徴収したい、という提案です。

ランチ会費変更は年次総会で

前号ランチレターで本部会費値上げにともなうランチ委員会の考えかたを述べました。気の早い会員もいらっしやって、¥3,100を送金されたかたが数名おられました。ランチ委員会でさらに議論を重ねた結果、ランチ会費改定は年次総会で決定されるべきであるとして、本号1ページのとおり実質値下げといたしました。

年次会員の場合、新本部会費£6(¥1,200)+ランチ会費¥1,400の¥2,600です。いままで本部会費比で£7(¥1,400)を徴収していましたが、本部にはその6割の£4.20(¥700)を収め、のこりはランチ活動費に繰り入れていました。ことしは本部会費£6(¥1,200)をそのまま本部に収め、ランチ取りぶんが零となるため約20万円の減収となりますが、昨年ランチ会費を値上げしたばかりであること、いまのところランチ財政は健全であることから、96年度ランチ会費は据置きとしました。

ランチ出版物の印刷費ならびに郵送料で、会員一人あたり年間¥1,800を必要としています。いまのランチ会費¥1,400では、近い将来、財政硬直化が明らかであるため、年次総会において会費改定を討議していただくことにしています。

* * * * *

< 1995. 11. 18 E C M報告 >

クレメント篤子

クレメント篤子さんのレポート中、レター No. 31に載せられなかったRSCDS Executive Council Meeting (ECM) 報告は以下のとおりです。

年次総会AGHはRSCDSの規約審議・方針審議・役員選出を行なう場ですが、ECM執行評議委員会は各専門委員会の活動をチェックする機能をもち、146のランチから各1名の代表者が出席し、審議します。5月・11月の年2回開催され、RSCDS会員にとってはECMのほうが身近な問題が討議される所です。篤子さんレポートに専門委員会短信を加えてお知らせします。

チェアマンあいさつ： 本日のランチ代表者（レプリゼンタティブ）が本部とランチ（以下『支部』という）の架け橋であり、AGHのオープンフォーラムでもっとも話題にのぼったのがコミュニケーションであるように、各位がさらにこの自覚を深めよう努力したい……

討議事項：

1. チャリティ法改正によって支部が独立形態をとることがAGHで承認された。International Familyとしての結束をライセンスという形でソサエティと支部間で正式に取り交わすこととし、ライセンス原案を支部内で検討し、内容に疑問・要望があれば1月上旬までに本部に回答することとなった。

この後のスケジュールは、 3月 特別（臨時）ECM

4月 スコットランド国税局とイングランド、ウェールズの
チャリティ委員会にライセンス諮問

5月 臨時総会開催・承認・ライセンス施行

で、海外支部もライセンスに署名する必要がある。

2. 総括委員会

- a) Young Scottish Dancers Association/YSDAをもっと広く紹介すべきではないか……元来Scottish Schoolを対象としたものであるが、これから広めて行きたい。

- b) ミリタリ・タトゥー……タトゥーの新ディレクター・ジェイミソン代将とクレメント副チェアマンとの会談で、代将から『来年のタトゥーでは、“ロバート・バーンズ”をテーマにハイランド、ミリタリダンス、カントリーダンスを組み合わせて公演したい』希望が述べられた。副チェアマンはコメントを述べて代将希望に合意した。

3. 試験委員会

- a) 試験 Examinationを計画している支部は、トレーニング・コースを始める前に、本部から実施場所と時期の承認を得ること。(前号ブランチレターの本部方針変更は誤り。従来からこの方針が進められており、改めて認識を求めたものである。前2回の東京における試験は、きわめて異例であったといえる)
- b) 海外試験ツアー計画:
- | | |
|----------|-----------------|
| 北アメリカ | 2年に1回で、次回は1997年 |
| オーストラリア | 3年に1回で、次回は1997年 |
| ニュージーランド | 3年に1回で、次回は1998年 |
| 南アフリカ | 4年に1回で、次回は1998年 |
- 将来、日本をオーストラリア、NZのツアーに組み込むことも検討されている。
- c) 予備試験合格者は支部レベルにおいて指導してもよい。ただし、これはフル指導資格を持たなくてもよいということではない。フル指導資格を持つことが究極の目標である。……に対して、これを正式に認めることに問題があると反対の意見が提示された。

4. 財務委員会

- a) 規約改正小委員会において予算£1,500では足りず、さらに£500が必要というのはなぜか……マンスフィールド卿の弁護士をコンサルタントにしているが、規約改正は重要事項であり、必要性を認めて£500を支出することにした。弁護士の料金は高い。
- b) ジェイムズ・シニア(靴店)のソサエティ・ロゴ使用に関し、契約を更改した。期間3年間で、毎年£1,750を基本とする内容。
- c) ちなみにブリティンの広告料金はつぎのとおり。
- | | | |
|---------|-------------|-------------|
| 1ページ広告: | 支部……………£150 | 一般……………£200 |
| 半ページ広告: | 支部……………£ 80 | 一般……………£125 |

5. 出版・研究委員会

- a) Book 18 音楽の録音はスタジオがかわり、よい出来であるとのコメントがあった。
- b) マニュアルのビデオ化は10月末に終了した。適格なダンサーを見つけるのに苦労した………広範囲に探すべきだったのでは?………始めの人数の半分近くに減ってしまった。
- c) Book 39 は9曲で、4曲はすでに親しまれている踊り、残りが新曲となる。旧4曲は、
- | | |
|-----------------------------------|------------------------------|
| The Duke and Duchess of Edinburgh | The Robertson Rant |
| The New Scotland Strathspey | Prince Charles of Edinburgh. |
- "New Scotland ……"を除く3曲の音楽著作権使用について、権利者のレイ・マッキントッシュ社と話を進めている。
- d) Book 40 はRSCDS 75周年記念ブックで、『"Scottish Dances from Scotland"と称してスコットランドの支部から提出されたダンスでまとめては』という提案がある。このほかにも新曲で"Round the World"をやってみては』あるいは『David Young Collectionから教曲使ったらどうか』という提案もなされている。
- e) RSCDS はコリンズ出版社が発行する"Book of Reels"のダンス中、RSCDS ダンスに対してのみ関与しているが、版下ができあがり次第、委員会メンバーに回覧される。

- f) 新レコーディングは、七つのバンドのなかからつぎのバンドが担当してくれることになった。
- Book 19 …… ロン・カー・カルテット
 Book 20 …… クレイグ・マッカラム・バンド
 Book 39 …… ケニー・トムソン・バンド

6. サマースクール委員会

- a) サマースクール1995は、第3週満杯、第1・4週もほぼ定員、第2週が空席ありという状態であった。『大多数の参加者は1週間』がはっきりしてきた。……1週間参加に変更しては、との意見があり、考慮するという本部回答。

ショップの売上は前年にくらべ落ちた。異常なほどの好天気（参加者はショップに行くひまがないくらい戸外活動する）、月曜スタート、それと参加者減少によるものと思われる。

- b) コモン・ルームのピアノは20年経過して使用不能となり、大学が1台貸してくれたが、来年は新ピアノを購入するかレンタルしなければならない。……『原因は寿命と保管条件』の本部回答に、新規購入したとき保管条件改善が図られるのかが問われた。『電子ピアノならば移動も保管も簡単』が提案された。また『アコーディオンやフィドルも取り入れたら』の意見に、大半が賛成を示した。
- c) レスリー・マーティンから『ロン・カー・カルテットの演奏は早すぎた』指摘があり、ファイフ地域観光局に申し入れる。（ヤンガーホール・ダンスは RSCDSでなく、観光局主催である）……『Book 19 の録音はロン・カー・カルテットであるが、テンポは大丈夫か?』に対して、録音前に希望テンポが通知され、録音時にもストップウォッチで確認するので問題はないとの回答。

7. 各専門委員会の委員選出が行なわれた。各委員長を紹介する。

総括委員会	……………	ジョージ・ローソン（チェアマン兼）
試験委員会	……………	アリスティア・エイキンヘッド
財務委員会	……………	リチャード・ターンブル
出版・研究委員会	……………	ジョン・ドゥルーリ
サマースクール委員会	……………	マージョリー・マクレエ

8. その他

- a) ソサエティ会員であることに意味があるのか、との疑問がトロント支部から提議された。ブックやテープは誰でも購入できるし、ブックと年会報は支部にまとめて送られてくるので（トロントでは）税金を取られるなど、Affiliated Groupでもよいのでは?……ティーチャーの派遣や受験の機会が与えられること、もっとSCDを生かすため前向きに対処するなど、ソサエティの意義への理解を説明する一方、ソサエティとしてもPR小委員会を中心に見直しを行なっていることが述べられた。
- b) 年会報で支部レポートを再開することについて、本部のコンピュータ化に時間がかかっていること、近い将来もっとよいコミュニケーション方法を考えていることなどの回答。
- c) AGMでの感謝状贈呈が最後という順序になっているが、式次第のうえから最初に持ってきては、の提案……考慮する。
- d) スコットランドではコミュニティ・ダンス活動でスコットランドのあらゆる踊りを取り入れることが盛んになっている。にもかかわらずソサエティやハイランド・ダンス協議会は無視される傾向にある。ソサエティがもっと中心に活動できるよう、各人が積極的に取り組んでほしい。団体名簿に名前を載せるには £10の年会費が必要。

e) 年会報は印刷所から直接送られてくるが、梱包が悪い………はじめての苦情なので調査する。

f) Formation Index の提唱者・作成者であったアメリカのジェニ・シャープ夫人は、95年夏に亡くなられたが、ご主人から2冊の古い楽譜本がソサエティに贈呈された。

ジェイムズ・コッシュ死去

"Mairi's Wedding", "Irish Rover", "Winding Road", "The Garry Strathspey", "The White Heather Jig"その他の作者として知られるジェイムズ・コッシュは、昨年10月15日に亡くなりました。Diagonal rights and lefts はコッシュの創作であり、"Harigold"は"Gothenburg's Welcome"に生かされています。ダンスブック販売から得た収益をすべて盲導犬協会に寄付した人でもありました。

北米におけるポピュラー・ダンス

よそのブランチのニューズレターにはパーティ、スクールの予告と、そこで踊られるダンス名が必ず載っています。シカゴ・ブランチのケント・スミスが1991-1994年にアメリカとカナダで発行された768種のニューズレターを調べたところ、よく踊られているダンスとその順位はつぎのとおりとのこと。ケント・スミスは、28位 "Quarrie's Jig"の作者でもあります。

35曲中、ストラススペイは5曲しかなく、リール、ジグにくらべて各ブランチの選曲はばらばらである、といえます。White Cockade(18位)とJessie's Hornpipe(29位)は、日本ではあまりかからない踊りです。

北米にかぎらず、英国でもパーティではこういった踊りはリカップ(トークスルー)なしで踊られるのが通例です。わたしたちもそうなるには、あと何年かかりますか。

- | | |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 1. Montgomerie's Rant | 19. Jubilee Jig |
| 2. Reel of the Royal Scots | 20. Miss Gibson's Strathspey |
| 3. Sailor | 21. Monymusk |
| 4. Mairi's Wedding | 22. General Stuart's Reel |
| 5. Wild Geese | 23. Laird of Milton's Daughter |
| 6. Round Reel of Eight | 24. Postie's Jig |
| 7. Shiftin' Bobbins | 25. Machine without Horses |
| 8. Maxwell's Rant | 26. Bratach Bana |
| 9. Sugar Candie | 27. Ian Powrie's Farewell to.. |
| 10. De'il Amang the Tailors | 28. Quarrie's Jig |
| 11. Silver Tassie | 29. Jessie's Hornpipe |
| 12. Flowers of Edinburgh | 30. Mrs Stewart's Jig |
| 13. Hooper's Jig | 31. Kendall's Hornpipe |
| 14. Reel of the 51st Division | 32. Light and Airy |
| 15. White Heather Jig | 33. Rest and be Thankful |
| 16. Neidpath Castle | 34. Davy Nick Nack |
| 17. Irish Rover | 35. St Andrew's Fair |
| 18. White Cockade | |

いつもランチレターをお送りいただき、ありがとうございます。続けて発行するのは大きな仕事だと思います。これからもコミュニケーションの場としてがんばってください。気付いたところを二、三お知らせします。

28号； Glasgow Highlandersの終り方。どのように8回目を終わるかについてはまちまちで、断言しかねるところがあります。マニュアルのビデオ化の際、いろいろ議論しましたが、これはいにきまりませんでした。

29号； Laird of Milton's Daughter の解釈。ジョージ・エマーソンの"Scotland through Her Country Dances"にあるように、フローラ・マクドナルドのこと、という見方もあります。ただし、『このタイトルはわたしのために作られたのよ』という女性とお会いしたことがあり、どちらが正しいとはいえません。

30号； Gates of Edinburgh. Gate=Street という解釈もありますが、この踊りのタイトルは「門」でよいでしょう。むかしのエディンバラ市は城壁で囲まれていて、要所に門があり、朝・夕に開閉されました。それゆえ Reel of threeでパートナーと近付くたびに門の開閉をあらわすよう、手を取り合う（マニュアル参照）ということです。

John of Bon Accord. Bon Accordはアバディーン市の別名というより、同市のモットーのほうが正しいでしょう。

31号； 1745年事件とSCD。読むのは簡単ですが訳すのは大仕事だったのでは？

タリバーディン侯爵は初代アソル公爵の次男ウィリアムのことで、長兄が早逝したため本来は第2代アソル公を継ぐはずでした。ボニー・プリンス・チャーリーが敗れたため、三男のジョンが第2代アソル公となりました。六男はプリンスの右腕といわれたジョージ・マリー卿です。ということで、ウィリアムはアソル公爵になっておりません。

Prince Charles of Edinburgh はチャールズ・エドワード・スチュアートのことではなく、現チャールズ皇太子をいいます。ボニー・プリンス・チャーリーのことであれば、of Britain でなければなりません。女王の夫君フィリップ公は、結婚前、Duke of Edinburghの称号を与えられていたので、その子であるチャールズ皇太子が Prince Charles of Edinburghなのです。このことは原筆者のアンドルー・ケレットに連絡しておきます。

以上、ご参考までにお知らせします。

新ブック紹介

"Scottish Country Dance Music" by Fred Moyes.

カナダ・オンタリオのフレッド・モイズの手になる資料（主）と補足テープ（従）で、両方で一式というセット物である。

SCD音楽はジグ、リール、ストラススペイに区分される。このブックはこれをさらに区分し、たとえばリールならばダブル・ラント、シングル・ラント、ホーンパイプ、ストラススペイならばトラディショナル・スタイルー1(Earl Grey)、同スタイルー2(Balmoral Castle)、パストラル(Lea Rig)そしてジグ・スタイル(Garry Strathspey)というように分け、どのように違うかがテープに記録（楽団演奏）されている。

また同一の曲(Argyll is My Name)をリール、ジグ、ストラススペイ、ワルツで演奏し、違いがはっきりわかるように立案されている（この部分には大笑いする）。Flowers of Edinburghのよう

にダンス名と曲名が同一である場合、この資料ではダンス名をゴジック、曲名はイタリックで表している。このカセットはSCD音楽の理解を深めるよう企画されたものなので、ダンスには使用できない。

注文略号 : SCD音楽 価格: ¥1,600 (送料込み)
郵便振替で 00170-8-160278 鳥山豊喜 あてお申込を
注文締切り: 4月26日(金) 消印まで 現品お渡し: 6月下旬の予定

- 注1. 振替あて先の間違いが無いよう(前回あて先を間違え、品物を入手できなかった会員あり)
2. 切手代用不可(ランチは現金主義)
3. 注文略号ブランクのないよう(寄付なのか品物がほしいのか、意思表示のない会員あり)
4. 住所・氏名・郵便番号記入もれのないよう(送り先を探す手間を押し付けないよう)
郵便局で払込むとき、もう一度記入事項をチェックしてください。

中途退席は是か非か

ランチ合宿とマコーエン講習会で目立ったことですが、終りのソーシャル・ダンスではそれまでの6割ほどのメンバーしか残らず、催しの裏方は大いに落胆いたしました。とくに遠来の客であるマコーエン夫妻にたいしては、最後まで夫妻による熱演が続いただけに、礼を失することになったのではないかと、思っています。

パーティ、クラスその他の催しで、終りごろになると、エネルギー消耗や終了時の更衣室の混雑を避けたり、電車時刻に間に合わせるため、早退するダンサーが出てくるのはやむをえないことだと思います。しかしながら、グループごとに集団で中途退席するのは主催者に失礼である、といえないでしょうか。自分たちが主催者になったとき、を考えるべきでしょう。『受講はいいけれど、ソーシャル・ダンスはきらい』では、SCD本来の趣旨から外れるのではありませんか? 夕食の支度を控えているからみんな帰る、などということをやっていると『だから主婦ダンサーとはつきあえないのよね』となるのではありませんか?

会員各位においてもこのような風潮でよいのか、考えてみてください。裏方も、終りまで参加者の興味が持続するよう、プログラムを熟考しなければなりません。

カナダTACサマースクール

Teacher's Association (Canada)カナダ指導者連盟から、昨年と同様サマースクール1996の案内書が送られてきました。申込書ご入用のかたはセクレタリまで。

日 時: 1996年8月18日(日)~25日(日)の8日間

場 所: オンタリオ州ウォータルー

会 費: 560カナダドル(¥45,000)

講 師: Johan MacLean, Elinor Vandegrift, George Lawson,
John Middleton, June Shoreほか

内 容: レベルに応じ、初級からチューターまでのクラス

締 切: 5月17日

事務局から

- ことしのソサエティ年次総会は、11月1日(金)・2日(土)にダンディーで行なわれます。東京ランチ代議員として出席をご希望のかたは、7月末までにセクレタリまでご連絡ください。
- 本部セクレタリにジル・パーカーさんが就任して以来、本部発行の文書から見る限りでは、事務効率のよさが伝わってきます。パソコンの有効活用、PR小委員会の活躍もあるでしょうが、有能な新セクレタリ採用はRSCDSにとって幸運です。
- 本部PR小委員会の成果の一部として、1月に4ページの"News Brief"が発行されました。AGM報告がおもな内容です(東京ランチではレター31号、クレメント篤子レポートでお知らせ済み)。本部が出版する正式ニュースは年1回のブリティンのみでした。これからさらに"News Brief"が充実されることを期待しています。
- 会員登録更新をむかえ、これから事務手続きでランチ役員にとっては忙しい時期です。みなさんのご協力をお願いします。

いちばんの協力はなにか?それは記入事項に抜けがなくてはっきり読め、期日に遅れないことです。親から「字はゆっくり書くもの。うまいへたはそのつぎ」と教わりませんでした?
- 合宿の感想をごらんになってお判りのとおり、一つの事柄でも賛否両方あり、大きく言えばランチ運営のむずかしさを感じます。
- 映画「Shall we ダンス?」をごらんになったかた、多いことでしょう。主役級はもちろんですが、脇役の草村礼子(たま子先生)・渡辺えり子(豊子おばさん)・徳井優(関西弁の服部)に感心しました。踊りは違っていても、ダンサーとして共通・共感するところがたくさんあって、とても楽しい映画でした。
- ことしのRSCDS出版物は、Book 19, 20, 39のカセット、マニュアル・ビデオ版、マニュアル追録版などです。価格がわかりしだいご注文を受け付けることにしています。
- 3月4月にかけてSCD関連でサンディエゴ(米)、リヨン(仏)、エディンバラそれぞれに出かける会員がおり、旅の安全と楽しい思い出を祈ります。そしてレター用原稿も。

RSCDS 東京ランチレター 1996.4.7発行
RSCDS東京ランチ
セクレタリ 掛川純子 048-33-3494
345 崎・宮代町宮代台3-4-14